

平成25年度第8回 新城市作手地区総合整備委員会会議録（要点記録）

日時	平成26年3月26日（水） 午後7時30分～午後8時40分
場所	新城市作手総合支所第1会議室
出席者	委員9名（欠席者6名） 事務局9名 東畑建築事務所
傍聴人数	0名
次第	1 あいさつ 2 工事工程計画について 3 作手総合支所庁舎の実施設計について 4 共育を推進する会（仮称）について 5 作手総合施設整備事業の実施設計に関する要望について 6 その他
事務局	1 あいさつ 2 工事工程計画について （資料に沿って、工事工程計画を報告）
東畑建築事務所	3 作手総合支所庁舎の実施設計について （資料並びに模型によって報告）
事務局	4 共育を推進する会（仮称）について （資料に沿って、共育を推進する会（案）について説明） 共育の円滑な推進を図ることを目的に、住民、地域で活動する団体及び学校等で構成する住民主体の組織を立ち上げたい。
委員	本委員会で行った視察において、小学校建設委員会が共育の活動に移行した例があり、良い提案だと思う。
委員	まず、山村交流施設の利用について検討してから、共育の推進について考えた方が良くはないか。

委員	<p>作手地区については、従来の取り組みにおいても共育活動が進んでいる地区だと思う。今後、特に子どもたちが土日や夜の活動に参加することが多くなった場合、子どもたちの負担が増えないか、学校行事として扱うか否か、学校行事とした場合の対応をどうするかなど気になる点はあるが、共育を推進する会で調整が図れば良いと考える。</p>
委員	<p>これまでも地域と学校との関わりは十分できていたと思う。新しいものの作り上げることではなく、今の関わりを活用しながら、より良い方向に進めるというスタンスが良いのではないか。</p>
委員	<p>共育が前面に出すぎると、大人だけで活動する団体は山村交流施設を使いにくい。誰もが利用しやすい山村交流施設となるよう検討をお願いしたい。</p>
委員長	<p>これまでに培われた地域と学校との関係を生かしつつ、また子どもたちへの負担を考慮しながら、作手地区の共育がより良い方向へ進むような体制づくりを検討して行ってほしい。</p>
事務局	<p>5 作手総合施設整備事業の実施設計に関する要望について (資料に沿って説明。文言の修正以外は意見なし。)</p>
委員長	<p>6 その他 本委員会の委員長を1年間務めさせていただいた。また、本委員会は作手総合施設整備事業の基本設計の完成に伴い、今年度をもってその役目を終える。 皆様のご支援・ご協力について厚くお礼申し上げますとともに、より良い施設ができることを心から願っている。</p>